

# 令和8年度 教育目標、努力目標、学校経営方針等について

八戸市立中沢中学校  
校長 大野 勉

## 1 教育目標、努力目標

- (1) 教育目標 (目指す生徒像)  
自ら創造し、共にたくましく生きる生徒
- (2) 努力目標
  - ・互いに尊重し、自他を活かす
  - ・志をもち、進んで学ぶ
  - ・強い意志をもち、粘り強くやり抜く

## 2 学校経営の方針

- (1) 基本理念  
いのちの教育\* すべては生徒の幸せのため

\* ありのままの自分 (自尊感情を育てる)  
つながりと多様性 (ひとりではないことに気付かせる)  
いのちの重さ (生き方をしっかりと考えさせ、教える)

- ・生徒が何か一つ強みをもち、笑顔で生活する学校 (目指す学校像)
- ・可能性を信じ、誰一人取り残さず生徒の成長を見取る教師 (目指す教師像)

- (2) 学校経営の方針

中沢中学校の教育目標達成を目指し、学習指導要領及び青森県教育委員会、八戸市教育委員会の学校教育指導の方針と重点を踏まえるとともに、全教職員が自分の持ち味を生かし、協働的に業務に取り組めるよう組織マネジメントすることで、中沢中学校らしい特色ある教育活動を創造、推進する。

- ①これまでの教育活動のよさを生かしつつ、生徒等の実態や現在の社会状況を踏まえ、カリキュラム・マネジメントを適切に行うことで、教育活動の質の向上を図るとともに、「働き方改革」の視点で学校の教育活動を見直す。
- ②生徒が笑顔で、安全かつ安心して生活することができるよう、「魅力ある学校づくり」を推進する。特に、「居場所づくり・絆づくり」の視点で、授業や諸活動を見直し、充実を図る。
- ③「社会に開かれた教育課程」を実現するため、校種間連携及びコミュニティスクールを基盤とした教育活動を推進する。

## 3 学校経営の重点

- (1) 教育活動の質の向上

- ①「いのちの教育」を基底に据えた教育活動の実施
- ②失敗を恐れず自分の考えを表現する場面、失敗や間違いをいかす場面、つながる場面を工夫した各教科の授業の充実 (「確かな学力」)
- ③「希望と勇気、克己と強い意志」「相互理解、寛容」「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を重点項目とした、「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の充実 (「豊かな心」)
- ④発達の段階に応じた保健体育の授業及び諸活動の充実 (「健やかな体」)

- (2) 「魅力ある学校づくり」の推進

- ①基本的自尊感情を高め、すべての生徒の「居場所」を保障する生徒指導の推進
- ②社会の一員として自立した生徒の育成を目指したキャリア教育の推進
- ③意思決定や合意形成するための話し合い活動を基本とした特別活動の推進
- ④社会・地域社会に貢献する生徒の育成を目指した総合的な学習の時間の推進
- ⑤互いを認め合い、高め合うことができる学級・学年経営の推進

- (3) 校種間連携及びコミュニティスクールを基盤とした教育活動の推進
- ①多面的な生徒理解のための情報交換及びそれに基づいた指導の充実
  - ②中学校区の児童生徒に共通する課題の解決を目指した協働実践の推進
  - ③ふるさとへの誇りと愛着を育むため、「社会貢献・地域貢献」につながる教育活動の推進
  - ④よりよい生活習慣・学習習慣を身に付けるため、家庭と連携した指導の推進
  - ⑤安心・安全な学校・家庭生活ができるような地域社会と連携した安全教育の推進
  - ⑥生徒の成長や頑張り伝えるため、保護者及び地域住民に対する積極的な情報発信

(4) 教職員の研修の充実

- ①学校課題解決につながる研究・研修計画の作成及び実施
- ②教科の壁を越えて互いに学び合う校内研究の推進
- ③現代的な諸課題や生徒を見取る力の育成等に対応した一般研修の工夫
- ④授業改善や教育活動改善に生かせる校外研修への積極的参加

4 令和8年度学校目標

(1) 学校目標

主体的に考えて実行する力の育成  
～失敗力・つながる力の視点から～

(2) 重点施策

- ①失敗力の育成：挑戦、試行錯誤、授業での表現、立ち直る力、自己効力感
- ②つながる力の育成：受援力、他者受容、対話と協働、挨拶、社会とのつながり

〔評価基準〕次の生徒・教師・保護者アンケート（①～⑩）の結果で肯定的回答（「そう思う」「少しそう思う」）の割合の合計が80%以上であればA評価（おおむね達成）と判断する。

	生徒視点のアンケート項目（案）
失敗力の育成	①【挑戦】難しいことや新しいことにも、「まずはやってみよう」と思って挑戦していますか。 ②【試行錯誤】うまくいかないときすぐに諦めず、課題を明らかにし、やり方を変えたり工夫したりしていますか。 ③【授業での表現】授業で自分の考えがある時、自信がなくても、その考えを発表していますか。 ④【立ち直る力】嫌なことや失敗することがあっても、短期間で気持ちを切り替えて、また前に進むことができますか。 ⑤【自己効力感】自分には良いところがあり、困難を乗り越える力があると思いますか。
つながる力の育成	⑥【受援力】困ったことや悩みがあるとき、先生や友達に「助けて」「手伝って」と言うことができますか。 ⑦【他者受容】友達が困っていたら話を聞いたり、友達の失敗を責めずに励ましたりしていますか。 ⑧【対話と協働】自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け止めたりしながら、意思決定や合意形成していますか。 ⑨【挨拶】場に応じた相手に伝わる挨拶を自分からしていますか。 ⑩【社会とのつながり】自分の将来（職業や進路）を考える際に、学校や校外（総合的な学習の時間、キャリア学習等）での学びが役に立っていると思いますか。
その他	⑪【家庭学習】家庭での時間を有効に使って学習（宿題、自主勉強、読書など）に取り組んでいますか。 ⑫【メディア】日常生活に支障がない範囲で、メディア（ゲーム、インターネット、SNS等）の利用時間を制限できていると思いますか。 ⑬【いじめ】本校ではいじめの未然防止と早期発見に努め、適切にいじめに対応がなされていると思いますか。